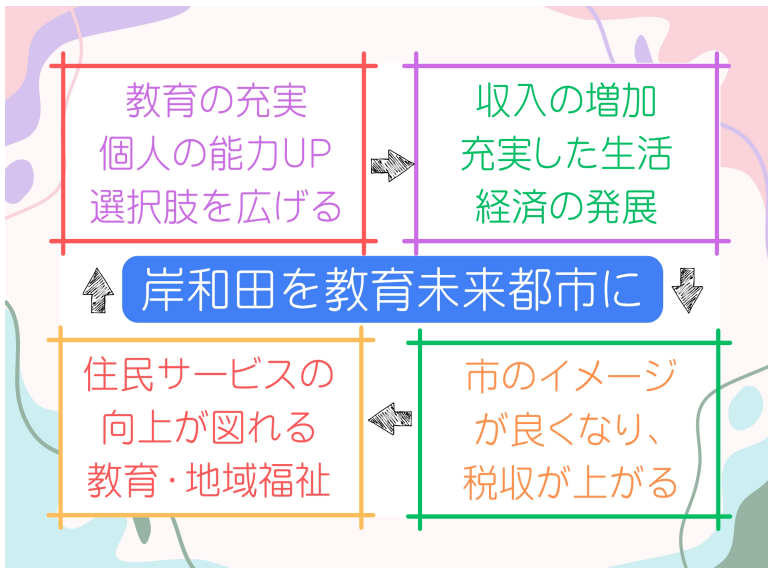


# あつてはならないに 挑戦する



## WEB動画にて政策解説中

### 教育環境の充実

子ども達が、勉強に集中できる環境整備  
生涯学習制度充実による健康寿命の延伸  
子育てしやすい街 安心・安全な街作り

### 地域経済の発展

観光産業の育成や住民サービスの向上  
先進技術導入による持続可能な街作り

### 行財政改革の実施

時代に即した行政サービスの提供

岸和田の行政は問題が山積みですが、市民の皆様の暮らしに安心感を与えるのが優先順位が高くなると思います。教育問題・福祉問題ですが、いくつか挙げると小学校の給食問題。実施基準625カロリーが長期に渡り達成出来ていません。子供たちに十分な食事を与えない。一歩間違えれば児童虐待です。給食無償ではなく、市からの上乗せが必要です。また日本全国で話題の、高校無償化による学校再編。岸和田市立産業高等学校は、子ども達が自立に向けて一歩を踏み出す教育機関。保護者向けのお金のバラマキでなく、優秀な人材への奨学金が必要です。全商検定9分野1級取得で奨学金300万円。大学で上位資格に挑戦可。

次に福祉問題、生涯学習制度の充実による健康寿命の延伸。埼玉県本庄市で早稲田大学が、75才以上の医療費を調べ、年間で農業者73万円、一般91万円の平均値を発見しました。江戸時代の9割の農家が低寿命ですから、農業者が長生きするのではなく、やりがい・生きがい・文化的生活を持っている方が元気に長生きされていると解釈できます。教育未来都市への脱皮が岸和田を持続可能な街にする唯一の方法です。

## これ以上、市民の皆さまに負担を押しつけないために

普段、NPO法人の代表理事として岸和田市内にて援農活動など大勢のボランティアさんと共に活動させていただいております。しかし、今回の選挙は一人で戦う所存です。

私は、岸和田市の課題として政党政治に問題があるのではないかと考えています。

組織票をもらって大した努力もせずに市長になれる。そこに、気の緩みが出るのでしょうか。

前市長は維新と繋がり当選し、現役の市長として活動している最中に、私的な件とはいえ女性問題を起こし、岸和田市議会から2度に渡る不信任決議を受けて、失職しました。

その前の市長は、自民党関係者との献金問題で辞職し、市長選挙後たった2ヶ月あまりで再選挙が実施されました。維新系も自民系も住民の皆さまを見ず、自分達の事だけ・・・。

子どもの頃に公共のAC放送をよく見ていました。「暗いと不平を言うよりも、すすんであかりをつけましょう。」岸和田市の有権者の皆様の前市長を失職に追い込んだ想いを、今回の市長選挙でも一市民として届けたいと思い、立候補を決意させていただきました。

政党・政治団体には所属していませんし、コンタクトも取っていません。また後援会もありません。

市民の皆さまの大切な税金を無駄遣いしないため、はなのまさのりは今回の選挙で岸和田市に補助金を請求しません。

選挙カーレンタル・燃料・運転手（最高254,100円）：選挙カーを走らせず、補助金は請求しません。

公営掲示板用ポスター印刷料金（最高497,810円）：岸和田市への補助金は請求しません。

自身でデザイン作成し、格安印刷所を使ってシール付などのオプションを使わず自費印刷します。

ビラ作成印刷料金（本チラシ）最高123,680円）：岸和田市への補助金は請求しません。

自身でデザイン作成し、格安印刷所を使って自費印刷します。

選挙運動用通常はがきの郵便料（最高680,000円）：（市の補助金ではなく、郵便局が無償配達）

現在の郵便局はそんなに儲かっていません。郵便局の利用者にしわ寄せが行きますので使いません。